



YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2017年7月号

人に求めるのではなく自分に求めることが大事！

6月からそろばんの授業で丹田音読を導入したことは以前にも書きましたが、今月から丹田音読で論語を読み始めました。子供たちも大きな声を出して一生懸命、論語の音読をしています。

音読を始めたことであいさつ時の声が次第に大きくなってきていると感じています。これを継続していくことで、どのような変化があるのか楽しみです。

子供たちはとても素直です。素直な気持ちで論語を讀むことで、私たち大人よりも論語が浸透しやすいのではないかと考えています。

論語は、儒学の創始者である孔子（前551～前479）の言葉なのですが、孔子自身によって書かれたものではありません。孔子とその弟子たちのやりとりを、孔子の死後に弟子たちがまとめた言行録なのです。

最近では、新しく出版された本の90%が五年後にはなくなっています。そして10年後には、なんと1%程しか残っていないという時代にあって、2000年以上前に書かれた論語が、今もなお読み続けられていくのも凄くことなのです。

しかも経営者や政治家をはじめとする、リーダーに限って言えば、論語の浸透率というのは非常に高いものがあります。

座右の銘や経営理念を論語から引用したという方

も非常に多いのです。 そんな論語ですから、私もこれから生徒たちと一緒に頑張って繰り返し学んでいきたいと考えています。

今月は「君子は諸（これ）を己に求む。小人（し
ようじん）は諸を人に求む。」という論語を音読して
います。この論語の意味は「立派な人は自分に原因
を求めて反省するが、ちっぽけな人は他の人のせい
にする。」という意味です。

私たちはなんだかんだ言ってもやっぱり自分が可愛いものです。何かまずいことが起きたり、失敗したりするどうしても周りの環境のせいにとしたり、他人のせいにとしたりするものです。

でも、人のせいになっているかぎり、自分の成長は見込めないのです。とれだけ多くのことを自分の責任だと受け止めて、反省を繰り返していくことができるかで人間は成長していくのです。なので、すべての出来事は自分の責任だと思えるような人はどんどん成長していくのです。

しかし、頭では大切だとわかっていてもなかなか原因を自分に求めることが出来ません。

テレビのインタビュで、プロ野球やサッカーの監督さんの言葉を聞いていると、本当に強いチームの監督さんほどすべての責任は私にあるとおっしゃいます。素晴らしい社長さんの講演でもそうです。

素晴らしい人ほど人のせいにせず。すべては自分の責任だと思って行動をなさっておいでなのです。そこまで、監督や社長さんに覚悟があるからこそ、そしてそのような行動を取っておいでだからこそ、選手や従業員も一所懸命に取り組むのだと思います。

私たちの身の回りでも同じことが言えます。人のせいにはかりしている人は、大人であっても子供であっても結果を出している人はあまりいません。しかし、すべては自分の責任だと思って行動している人は必ず結果が出てくるのです。

もし、親である私たちが人のせいにはかりして
いたら、それを見ている子供たちはどうなるで
しょうか？ 私たちが先ずは実践していくことが大切
なのではないかと思えます。

冒頭に、子供たちは素直な気持ちで論語を読んでいると書きました。きっと私たちが人のせいにした時に、きっと私たちのことを小人だと思うことでしょう。そうやって世の中のことを学んでいくことも大事だと思いますが、どうせなら私たちが自分の責任としてすべてをとらえていくことで、そこから子供たちが学んでいくような環境を作っていきたいとは思いませんか？

私も、家で自分のものを失くした時に、自分を疑うよりも家族を疑って後で恥をかいた経験が何度もあります。まずはそのような身近な事から取り組んでいきたいと思います。

必死

そんな時に、「今、普通に出来ることは以

最初の一步を踏み出すまでにどれだけ転んだのでしょうか。しかし、私たちはあきらめ

本来の子供たちはやる気に満ち溢れている存在なのです。そのように見えないのは何かの障害があるからなのです。何とかしてその障害を取り除きたいものです。そして、私たちも頑張り屋さんだったことを忘れないようにしたいものですね！

書籍紹介

ノルウエーの森
村上春樹